

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

45年の国際貢献実績！

アフリカ諸国の水道事業の課題を解決します

～JICA 課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」を実施！～

水道局は、令和元年6月24日から約1か月にわたり、JICA(独立行政法人国際協力機構)及び横浜ウオーター株式会社と連携して、アフリカ7か国から、水道事業体等の職員8人を受け入れ、水道事業に関わる研修を実施します。

【概要】

- 1 研修名
JICA 課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
- 2 研修期間
令和元年6月24日(月)から7月25日(木)まで
- 3 研修内容
本研修に参加するアフリカ地域の研修員が、事前に課題を設定します。水道局はその課題の改善に向け、講義などの研修プログラムを実施します(研修項目:漏水対策、配水管理、料金徴収など)。
- 4 参加国(五十音順)
ウガンダ、エチオピア、ケニア、ナイジェリア、ベナン、マラウイ、ルワンダ



メーター管理研修(平成30年11月実施)



漏水調査研修(平成30年11月実施)

【背景】

水道局は、長い歴史の中で培われた技術やノウハウを活用して、1973(昭和48)年にアフガニスタンに職員を派遣して以来、45年以上国際貢献に取り組んでいます。この間、海外研修員の受け入れにおいては、4,000人を超え、開発途上国の水道事業の発展に貢献しています。

本研修は、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議を契機として始まり、昨年までに29か国から125人の上水道技術者が参加しています。

今年度は、8月下旬に第7回アフリカ開発会議が横浜で開催されますが、水道は、アフリカの多くの国々で重要な都市課題のひとつです。今回参加の7か国においても、水道事業に多くの問題を抱えており、水道事業体が出した水のうち、30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。

水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行います。参加者は、研修を通じて自らの課題解決のための方策を検討します。

また、本研修に加えて、マラウイ国へのJICAボランティア派遣、横浜ウオーター株式会社と連携したアフリカ地域への支援など、さまざまな手法でアフリカ諸国の水道事業の課題解決に取り組んでいます。

裏面あり

○取材対象プログラム

各国水道事情発表会

研修員が、自国の水道に関する現状や課題について発表します。

(1) 日時: 令和元年6月26日(水) 9時30分から16時00分まで

(2) 場所: 独立行政法人国際協力機構横浜センター(JICA 横浜) 4階セミナールーム6・7
(横浜市中区新港2丁目3-1)

※馬車道駅(みなとみらい線)4番万国橋出口から:ワールドポーターズ方向に徒歩8分



- * 1 発表は英語で実施します(通訳は行いません)。
- * 2 ご取材いただく際には、6月25日(火)午前中までに下記お問合せ先まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- * 3 会場にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- * 4 上記以外のプログラムの取材をご希望する場合は、事前にご相談ください。

お問合せ先

水道局事業推進部担当課長 (国際シンポジウム・国際担当) 国安 暁子 TEL 045-633-0117